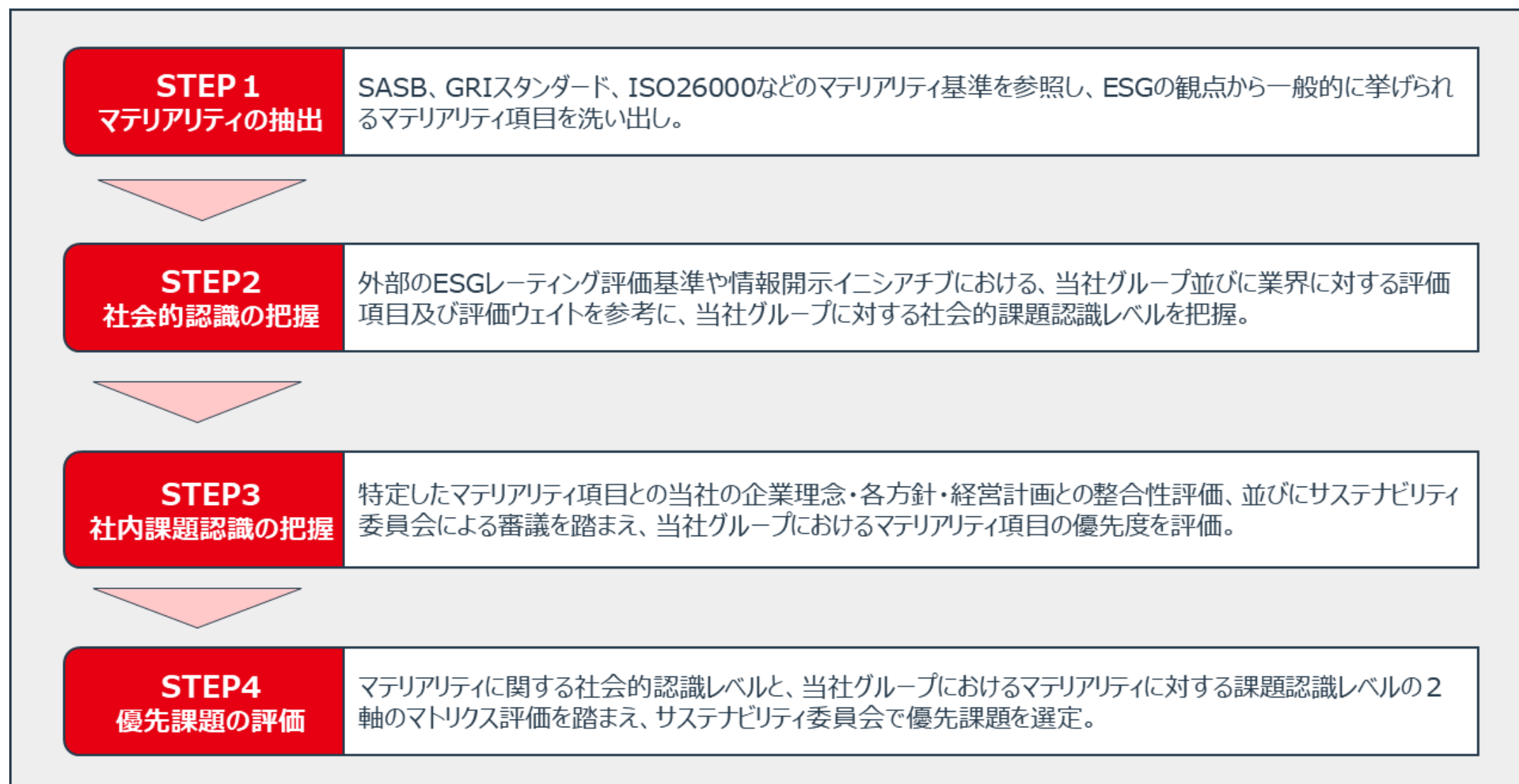


Atsugi

アツギグループのマテリアリティ

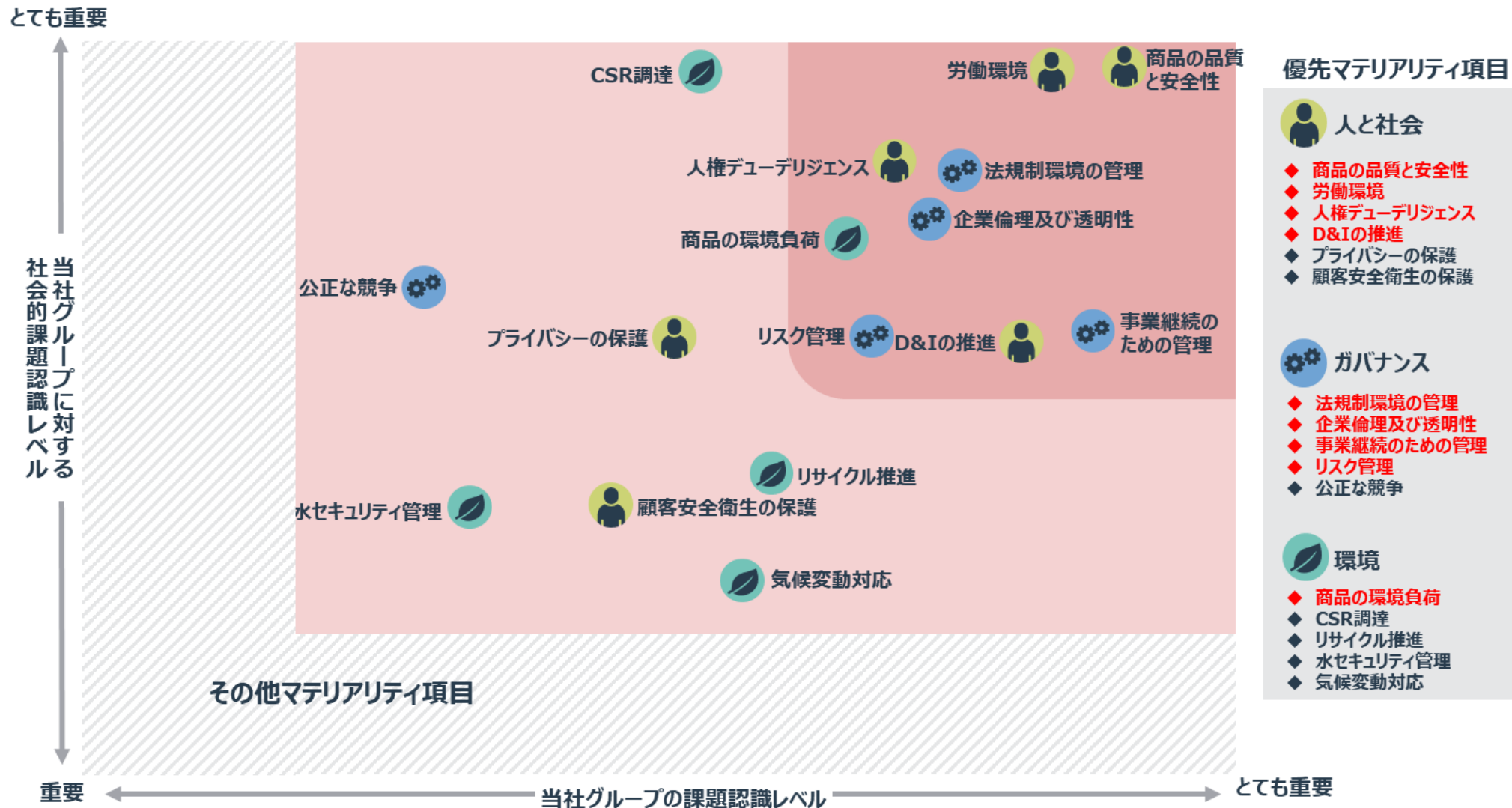
1 特定のプロセス

国際的な基準設定団体の指標やESG評価機関の項目を活用した上で、当社グループにおける「リスク」と「機会（利益）」を照らし合わせながら以下のプロセスを通じて、優先的に取り組むべき課題を明確にしました。



2 マテリアリティマトリックス

今回、以下の項目をマテリアリティとして特定しています。マップの右上にある項目は、当社グループの重要課題かつ社会的な重要性も高いため、特に優先して取り組むべき「優先マテリアリティ項目」に設定しています。



3 主要マテリアリティ項目一覧

主要マテリアリティ 項目一覧

当社グループの最主要マテリアリティ項目は、自社の事業運営において特に重要であると同時に、社会的なニーズも高い項目です。これらの課題に対して積極的に取り組みを進めるとともに、今後も優先的に対応を検討してまいります。

マテリアリティ項目		説明	取り組み	SDGsへの関与
環境	商品の環境負荷	環境負荷低減のために、製品に使用する原料から、販売時のパッケージなど、あらゆる場面で環境に配慮したソリューションの導入に取り組んでいます。	パッケージFSC認証紙 LIMEXショッピングバッグ 環境にやさしい原料 リサイクルポリエステル 黒原着糸	  
	商品の品質と安全性	当社の商品は人の肌に直接触れるものであり、品質と安全性を保障するために、品質の管理を最優先事項としています。	ISO9001の取得	
人・社会	労働環境	全従業員が働きやすい環境を実現するために、フレックスタイム制度やリモートワーク制度の導入を進め、ライフスタイルに応じた働き方を支援しています。	フレックスタイム制度導入、リモートワークの推進 中核人材の多様性充足	
	人権デューデリジェンス	サプライチェーンに関わるあらゆる人の人権を尊重するために、人権方針を規定しています。	人権方針の策定	  
	D&I推進	多様な人材が活躍できる職場づくりのために、D&Iの実現に向けた施策を実施しています。	取締役会の多様性の確保の観点から女性役員を増員	 
ガバナンス	事業継続のための管理	持続可能な財務基盤の確立のため、「付加価値の最大化」、「コスト構造改革」、「資本の効率化」、「組織改革」に取り組んでいます。	経営計画の見直し マテリアリティ評価を通じた課題整理	
	企業倫理及び透明性	すべてのステークホルダーとの信頼の構築のため、事業活動の透明性を向上させるべく、経営計画や方針等の情報開示を強化しています。	情報開示への対応	
	法規制環境の管理	事業運営に関わる全ての法規制に適切に対応するために、継続的な管理体制を整えています。	製品品質や環境関連の法的規制事項を遵守 「ILOや国連ビジネスと人権に関する指導原則」の遵守	
	リスク管理	事業運営に影響を及ぼす可能性のあるリスクを的確に把握し、対応できるよう、継続的なリスク管理体制を構築しています。	リスクマネジメント委員会の設置	